

I 一般的注意事項

1. 開設授業科目の履修方法については、当該入学年度の『履修要覧』（別の冊子）を参照してください。

2. 開設授業科目に変更がある場合には、掲示、manaba、授業等で知らせます。

3. 授業時間

時限ごとの授業の開始・終了時刻は次のとおりです。（1時限：75分）

時限	授業時間	休憩時間
第1時限	8:40～9:55	9:55～10:10
2時限	10:10～11:25	11:25～12:15
3時限	12:15～13:30	13:30～13:45
4時限	13:45～15:00	15:00～15:15
5時限	15:15～16:30	16:30～16:45
6時限	16:45～18:00	

4. モジュールと授業期間

学期は、春学期と秋学期の2学期とし、春A、春B、春C、秋A、秋B、秋Cの6つのモジュールで構成されます。モジュールの組み合わせによって、下表のように多様な授業実施方法がありますので、ある科目の期末試験が実施されている週に別の科目の授業が実施されていることとなります。

		Aモジュール	Bモジュール	Cモジュール	
2021年度の授業期間(試験期間含む)	春学期	4月8日～5月19日	5月20日～6月30日	7月1日～8月6日	
	秋学期	10月1日～11月10日	11月11日～12月28日	1月6日～2月17日	
ABC(15週)+期末試験					期末試験
AB(10週)+期末試験 C(5週)				期末試験	期末試験
A(5週)、BC(10週) ※特別な事情のある場合、この区分で行う授業があります			期末試験		
春 Aモジュール 期末試験：5月19日 春 ABモジュール 期末試験：6月24日～6月30日 春 ABCモジュール 期末試験：7月30日～8月5日 春 Cモジュール 期末試験：8月6日 秋 Aモジュール 期末試験：11月10日 秋 ABモジュール 期末試験：12月22日～12月28日 秋 ABCモジュール 期末試験：2月4日、2月9日～2月10日、2月14日～2月15日 秋 Cモジュール 期末試験：2月16日～17日					

■ 春A・C、秋A・C 期末試験日について

A又はCモジュールで完結する科目の試験を実施するための日で、該当しない科目は原則として休講となります。期末試験日における試験実施の有無、日程等については科目ごとに周知します。授業担当教員の指示に従って受講してください。

■ 定期的な曜時限を設けていない授業について

授業科目によっては、以下のように定期的な曜時限を設けていない授業があります。実施日程等の最新情報は、KdB（12ページ参照）や掲示等で確認してください。

- ・集中授業：曜時限が定期ではなく、ある程度集中した日程で行う授業形態。
- ・随時：実験指導的な内容で、学生が長時間にわたり実験等に従事する中で必要な都度、教員と調整の上、指導を受ける授業形態。
- ・応談：少人数のセミナー的な内容で、おおむね定期的に行われるが、教員の都合などで日時を変更することが少なからず生じるような授業形態。

5. 開設授業科目一覧の見方

(例)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB10191	哲学	1	1.0	1	春AB	火6	1D204	筑波太郎	哲学の基本的問題について考察する。	C D P 人文学類生に限る AC11999と同一。

記号や番号で開設組織、区分・分野等を表します。

授業方法が「講義」であることを表します。

科目の標準的な履修年次を表します。

「火曜日」の「6限目」に授業を行います。

「1D棟」の「204室」で授業を行う事を表します。

「12」で説明する備考の定型のほか、科目の受講条件等様々な記述がありますので注意して下さい。

6. 科目番号

科目番号は、学群・学類等が開設する授業科目の区分、分野等を表す記号としての基準を定め、履修申請等の便宜を考慮し、開設授業科目ごとに付されています。履修申請は科目番号により行われます。

7. 授業方法

授業科目は、講義・演習・実験等で行っていますが、2つ以上の授業方法を併用する授業科目もあります。開設授業科目一覧においては各開設科目の授業方法を下記一覧のとおり表記しています。

記号	授業方法
1	講義
2	演習
3	実習・実験・実技
4	講義及び演習
5	講義及び実習・実験・実技

記号	授業方法
6	演習及び実習・実験・実技
7	講義、演習及び実習・実験・実技
8	卒業論文・卒業研究等
0	その他

8. 単位

単位とは、授業科目の修得に必要な学修量を計る基準となるものです。大学で開講している授業科目にはそれぞれ単位数が定められ、この単位を修得するためには、所定の時間を学修し、試験その他の方法により合格と判定されなければなりません。卒業の判定は、この単位数に基づき決定されます。

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容によって構成されています(日本の単位制度)。本学では、授業の方法、教育効果、授業時間外(自学自習)に必要な学修等を考慮して、授業時間を次の基準で計算しています。

1 単位当たりの授業時間 (※学生が1単位を修得するために、授業に出席し受講する事が必要な時間数です。)

授業の方法	授業時間	備 考
講義・演習	15 (毎週 1.5 時間 × 10 週)	・外国語は、22.5 時間で 1 単位 ・医学群看護学類及び医療科学類開設の演習は、30 時間で 1 単位
実験・実習 実技	30 (毎週 3 時間 × 10 週)	・医学群看護学類開設の実験・実習は、45 時間で 1 単位 ・教育上特に必要と認められる場合は、45 時間で 1 単位

(本学は、1 時限 (75 分) を 1.5 時間として計算しています。)

なお、卒業論文・卒業研究等の授業科目や芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、これらに必要な学修等を考慮して、各学群・学類において単位数を定めることとしています。

9. 標準履修年次

各授業科目には、教育上その科目の性格や教育内容を考慮し、効果的な学修ができるよう、標準履修年次を示して開講しています。原則としてその当該年次において履修してください。

10. 教室

授業が実施される教室、実験室等は以下のとおり略号で表示されます。(下 3 桁は教室番号)

(例)

教室名	建物名称(階)
1D 201	1D 棟2階
2B 507	2B 棟5階
3A 403	3A 棟4階
4B 211	4B 棟2階
9L 101	国際講義棟 1階
9P 209	9P棟(大学会館C棟)2階
CA 310	グローバルコミュニケーション教育センター(CEGLOC)A 棟3階

教室案内はキャンパスマップ(冊子)及び大学 HP 上に掲載しています。

https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support-campus/campusmap2021_1.pdf

11. オンライン授業の受講について

① 授業実施方法について

筑波大学では、2020 年度秋学期以降、授業の実施方法を下記のとおり分類しています。

各科目の授業実施方法は年度当初の計画を大学ホームページの開設授業科目一覧の備考欄に掲載しているほか、最新の情報は KdB の備考欄やシラバスに記載されます。また、Web 掲示板(TWINS)にお知らせが出ることもあります。

1. オンライン(オンデマンド型)

manaba 等を用い、予め録画しておいた講義動画や資料等を学生が任意の時間帯に視聴でき、学生が当該授業を行う教室等以外の場所で履修することにより、対面授業の一部または全てを代替する方式をいいます。

ただし、動画の公開期間や課題などは、開設科目一覧に記載されている曜時限に履修することを想定して設定されていますので、特に指示のある場合を除き、できるだけその曜時限に受講するようにしてください。

2. オンライン(同時双方向型)

ウェブ会議システム等を用い、授業の様子を遠隔地に同時配信し、学生が当該授業を行う教室等以外の場所で、授業にリアルタイムで参加する方式をいいます。

3. 対面

教室等において対面で実施します。

4. その他の実施形態

上記の複数の方法で実施する場合も「その他の実施形態」となります。詳細はシラバスでご確認ください。

② manaba について

manaba は、それぞれの授業ごとにウェブから利用できるコースページを作成し、教員と学生が教材を電子的に共有したり、課題の出題と提出を行ったりすることができる学習管理システムです。TWINS で履修登録が完了すると、翌日以降に履修科目のコースにアクセスすることができますようになります。オンライン授業の実施に際しては、教材の共有に加えて、科目の受講方法や講義、動画、課題の提出など、manaba が中核的な役割を果たすことになります。

(<https://manaba.tsukuba.ac.jp>)

③ 授業に使用するソフトウェア・ハードウェアについて

本学学生はオンライン授業で用いられるグループウェアの Teams や、動画配信サービスの Stream を含む Microsoft 社が提供する様々なサービス群を利用することができます。また、オンライン授業を受講するためには、パーソナルコンピュータ、タブレット、スマートフォンなどの

端末及び通信回線が必要です。その他、オンライン授業を受講するために必要な手順の詳細は学術情報メディアセンターの「オンライン授業受講案内」を確認してください。

(<https://www.cc.tsukuba.ac.jp/wp/remote-lecture-students/>)

- ④ 授業で使用される資料等の取り扱いについて
授業で配布された資料や教材、講義動画や音声等を受講者が無断で複製・転載・転用してはいけません。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症への対応について
情報を大学ホームページ上で発信していますので、随時確認してください。
(<https://www.tsukuba.ac.jp/about/antidisaster-crisismanagement/covid-19/>)

12. 備考

備考欄には、以下のような意味の略号・記述があります。

■専門導入科目(事前登録対象)

全学対象に開設される科目で、その専門分野の入口となる科目(専門基礎科目相当)として用意されています。異なる分野を目指す学生にも履修できるよう配慮はされていますが、前提となる知識を必要とする科目もありますので、シラバスや科目情報を確認したうえで履修してください。なお、履修するには事前登録が必要です。

■授業実施方法について

「11.オンライン授業の受講について」の「①授業実施方法について」を参照

■G 科目

全学で育成するグローバル人材として修得するべき能力(① 外国語能力 ② 豊かな教養、国際理解 ③ コミュニケーション能力 ④ 多様性理解、活用力 ⑤ 学際的思考力 ⑥ アイデンティティと自信 ⑦ ポジティブな思考と実践力 ⑧ 自己表現力・専門力)の一部が身に付く科目で、全学学生向けに開設する科目を示しています。

■CDP

専門教育を通してキャリア形成を考えるのに役に立つ内容を含んでいる科目であることを示しています。

■JTP

「筑波大学短期留学国際プログラム」(Junior Year at Tsukuba Program)であることを示しています。なお、授業は英語で行われます。

■〇〇で授業

〇〇(言語)で行われる授業であることを示しています。

■0000000 と同一

0000000(科目番号)と同一科目であることを示しています。申請すべき科目番号は学生の所属によりますので、登録時に間違えないよう確認してください。

■実務経験教員

授業担当教員の中に実務経験のある教員を含む授業であることを示しています。

■男女別要素 (XX)

この表記のある科目は、以下のような男女別要素が含まれます。

男女別要素(ウェア):専用のウェアに着替えが必要な科目、男女でウェア等が違う科目であることを示しています。

男女別要素(用具):用具が男女別の科目を示しています。

男女別要素(接触):他の学生と身体的接触のある科目を示しています。

男女別要素(宿泊):宿泊を伴う科目を示しています。

男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け):男女別特別ルール・ペア/チーム分けがある科目などを示しています。

男女別要素(その他):体力測定の基準値が違う、つくばマラソンのエントリーに性別の記載がある等、上記以外の男女別要素がある科目を示しています。